

8ミリ

ラジオネーム：トルーパー

おじいちゃん、100歳近くまでの人生、本当にお疲れ様でした。

葬儀やら、もろもろの手続きやら、相続やらがようやく

一段落し、僕らもそろそろ落ち着きたいところなのですが…、

おじいちゃん、本当に色々なものを遺して逝きましたね。

シトロなカメラに登山の道具、作りかけのプラモデル、

弾いている姿を見たことが無いウクレレ、などなど、

今、家族みんなで遺品の整理に追われています。

あまりの多さに、「終活」の大切さを、身をもって

体験させてもらっています。

そんな遺品の中から、8ミリの映写機と、

「運動会」と書かれたフィルムが1本出てきました。

「これ動くのかな？」って言いながら映写機の電源を

入れたら、「ウーン」という音を立てながら

レンズの部分が明るく光りだしました。

さっそく部屋のカーテンを閉め、ふすまをスクリーンの

代わりにして、フィルムをセットしてみました。

フィルムはだいぶ傷んでいて、少し引っ張り出したら、

先のほうが「パキッ」と割れてしまったので、
慎重にセットしました。

映し出されたのは、もう廃校になった僕の小学校。

そして、40年前の僕の姿でした。

徒競走の順番待ちをする僕、ダントツのビリで

ゴールに駆け込む僕。

おじいちゃんが撮影していたことは、父さんも母さんも
覚えていなくて、見るのも初めてでした。

恐らく、こっそり撮影したものの、僕がビリだったから、

見せるのが可哀そうで誰にも見せなかったのかな。

正直、少し途方に暮れながら遺品を整理していたので、

8ミリを見たら気分が和みました。

おじいちゃん、僕らに少し休憩時間をくれたんだね、きつと。

それにしてもおじいちゃん、遺品の整理、

まだ1カ月はかかりそうだよ…。

リクエスト曲

へ スマイル / エルビス・コステロ へ